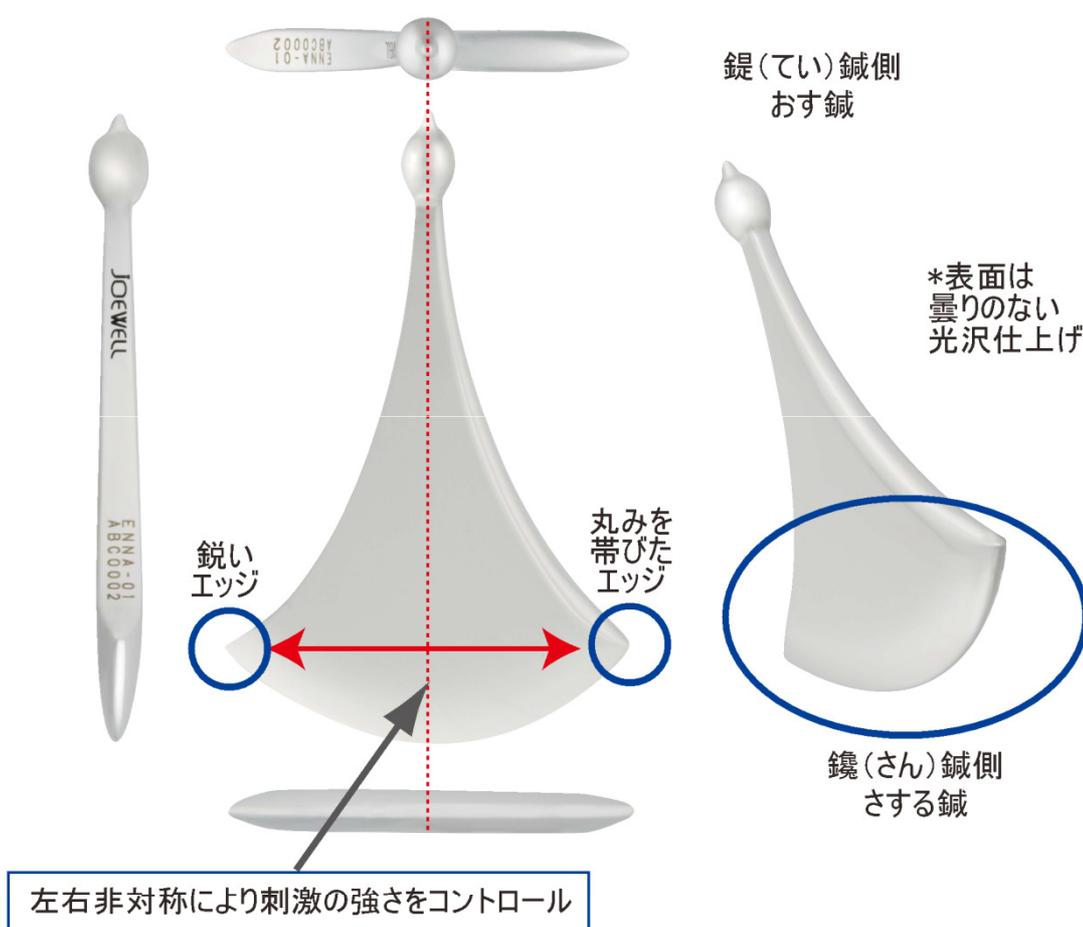


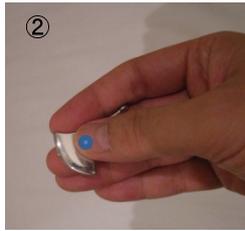
ジョーウェル Co-Cr-Mo 接触鍼 小児鍼おうぎ



「鑢鉞」側の持ち方A

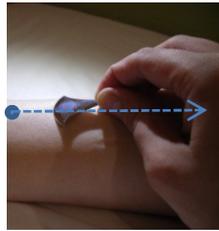


① 中指に本体を乗せ、やや人差指を曲げて側面カーブにフィットさせます。



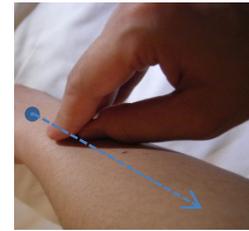
② 拇指の末節の中心で本体の重心を押さえるようにします。

「鑢鉞」側の当てる角度[持ち方A]



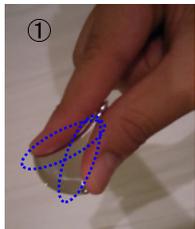
本体をかなり寝かせた状態で、「鑢鉞」側に引いてゆきます。
※このように持つのではなく本体の角度を示すための方便了。

「鑢鉞」側の動かし方[持ち方A]

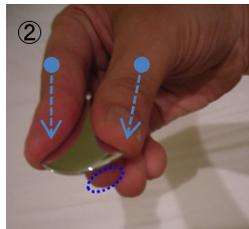


本体は指の間に隠れて見えにくいですが、持ち方A-②の様に鉞を保持し、寝かせた状態で鑢鉞の方向に引いてゆきます。患者の皮膚には術者の爪→鑢鉞部→術者の人差指・中指の順で接触してゆきます。これを必要回繰り返します。

「鑢鉞」側の持ち方B



① 側面の左右の曲線に拇指と人差指をフィットさせて本体をしっかりとかきまします。



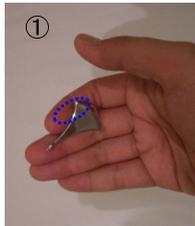
② 本体がすっぽ抜けないように、後ろから中指で支えて安定を図ります。拇指と人差指は本体を挟むのと同時に、皮膚を押す役割を担います。

「鑢鉞」側の当てる角度[持ち方B]

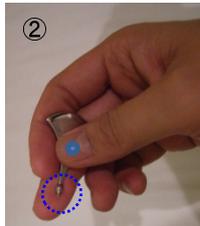


患者の皮膚に対して垂直に、鑢鉞を押し込んでゆきます。皮膚越しに筋溝探り当て、微妙に左右に揺さぶりをかけて、筋肉の緊張をほぐしてゆきます。

「鋳鉞」側の持ち方A



① 中指に本体を乗せ、鑢鉞の時よりも人差指の屈曲を強くして、第1・第2関節皺に本体のエッジを引っ掛けて、すっぽ抜けないようにします。



② 拇指の末節の中心で本体の重心を押さえるようにします。宝珠状の先端は中指の腹の中心付近に来ます。

「鋳鉞」側の当て方[持ち方A]



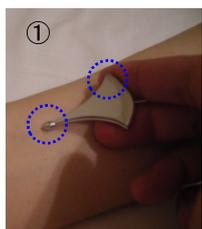
患者の皮膚に垂直に、宝珠の頂点の突起部分を当てます。
※このように持つのではなく本体の角度を示すための方便了。

「鋳鉞」側の動かし方[持ち方A]



5~6回/秒の速度で、宝珠の突起で患者の皮膚表面をタッピングしてゆきます。患者の皮膚には術者の中指先端を主に当てるようにして、突起のチクチク感をほとんど感じさせないようにします。

「鋳鉞」側の持ち方B



① 本体をかなり寝かせた状態にして、宝珠側の丸みを帯びた膨らみを皮膚に当てます。本体は中指の腹に預け、人差指の腹を鑢鉞側のエッジに当てて安定させます。



② 拇指の末節で本体を包み込むように保持し、宝珠の側面の膨らみを経穴(ツボ)にそっと当てます。皮膚の表面がやや陥没する程度の加圧を心がけます。強く押しすぎないよう細心の注意を払います。